

平成30年度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評価基準概評	○
サービス改善計画	○

児童発達支援・放課後等デイサービス

施設・事業所名： ハイタッチ

健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

平成31年 4月 25日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 様

(所在地) 滋賀県大津市富士見台54番40号
(施設・事業所名) 児童発達支援・放課後等デイサービス
ハイタッチ
(代表者職・氏名) 管理者 富元 重幸
児童発達支援管理責任者 阪本 健補

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 施設・事業所の名称 児童発達支援・放課後等デイサービス
ハイタッチ
- 2 評価基準およびサービスの種別 (該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入)

○評価基準

- ア 障害福祉サービス共通評価基準① [障害者/施設、グループホーム]
(種別:)
- イ 障害福祉サービス共通評価基準② [障害者(児)/在宅]
(種別:)
- ㊦ 放課後等デイサービス自己評価表
- ㊧ 児童発達支援自己評価表
- オ その他の評価基準 (具体的に:)

※種別 (記入例: 就労継続支援B型)

3 自己評価の実施時期（自己評価結果をとりまとめた時期）

平成31年 3月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい ・ 提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- | | | | |
|-----------------|--|---|------------------------------|
| ①市町への送付 | <input type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に： _____）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- | | | | |
|-----------------|--|---|------------------------------|
| ①市町への送付 | <input type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="checkbox"/> した | ・ | <input type="checkbox"/> しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に： _____）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

- (1) 事業所内での具体的な療育・支援内容、活動のふり返りと、次年度に向けた課題化、可視化という点でとても有用な手法であるとの所内の統一した意見でした。
- (2) 普段の療育・支援活動における問題点や課題を浮きぼりにし、課題解決のための策定のあり方を事業所全体で討議し共有することができました。
- (3) 今後のサービス評価について望むことは、各事業所の強みや特徴（例えば看護師常勤にて、現在の医療対応が必要な利用者様の受け入れが可能。）など、事業者間や利用者様・保護者様間でのネットワーク作りや情報発信が合わせて出来ればさらに有用な情報運営や社会資産の共有につながると思います。

以上です。